

30108砂防工事における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	11 ～ 12	足場作業床からのコンクリート打設作業中、足場に仮置きしていた型枠部材が突風にあおられ作業員へ接触、作業員はバランスを崩し、型枠内へ転落、その際、型枠上部に渡していた単管に胸部（胸部は肋骨を折った）を打ち、倒れてきた型枠部材で背面を打撲した。	43	1	411	1 ～ 9 人
2	2018	1	13 ～ 14	出勤後、通常通り2階でおむつ交換を行っていた。室内で1名のおむつを交換し終えたとき、腰に違和感を覚えたが、次の予定があるので、やむを得ず、別室へ移動し、比較的体重の思い利用者のおむつ交換を行った。交換を終えてベッドから離れようとしたが、激痛で動けなくなり、それでも無理をして、後始末をしてサービスステーションまで何とか戻ったが、そこでどうにも動けなくなった。	62	8	149	10 ～ 29 人
3	2018	2	8 ～ 9	河川の現場に建設機械を2機搬入していたところ、保護のために敷いていたゴム板が下の方に滑り大型機のバケットが小型機の操縦席前部に接触、小型機の操縦者が床に滑り落ち腰部を強打した。	73	3	142	1 ～ 9 人
4	2018	3	11 ～ 12	倉庫内にてアングル（L字型の鋼材）をグラインダー（研削版）で切断中に手をはじかれて、アングルに手をたたきつけて負傷、左手小指を骨折した。	32	3	153	10 ～ 29 人
5	2018	4	16 ～	コンクリート型枠組み立て作業中、左手でコンクリート型枠を抑え、右手にディスクグラインダーを持ち溝を作ろうとグラインダーをコン	60	8	153	1 ～

			17	クリートに当てた際、右手に力をいれずにグラインダーを当ててしまったため、グラインダーが跳ね返り左足を直撃し負傷した。				9 人
6	2018	7	16 ～ 17	資材の片付け終了後、ブロック積天端から安全の柵がなかったため、約1.5m下のコンクリート面に墜落、顔面を強打し、骨折した。	63	1	418	1 ～ 9 人
7	2018	7	15 ～ 16	工事現場にて、型枠組み立て及び鉄筋組み立て作業中、雷が鳴りだしたので休憩所に避難した後、作業場の移動のためホッパーを移動させていた際、ホッパーを支えていた指先を掛けていた吊り金具との隙間で負傷した。	55	7	391	1 ～ 9 人
8	2018	8	9 ～ 10	法面において、ハンマードリルを使用してアンカー削孔中、ハンマードリルの点検中にサイドハンドルを握っていた左手が滑り、着用していた手袋とともにドリルに巻き込まれ、左手小指を受傷した。	47	7	169	—
9	2018	8	8 ～ 9	桜の木を伐倒後バックホウ後方に移動し、後方にて玉切りする旨を声掛けに来た際、オペレーターの指がグラップル旋回用のスイッチに触れ桜の木が左旋回し、被災者の左前頭部に当たりヘルメットを着用していたが裂創を負い6針の縫合を要した。	51	6	171	1 ～ 9 人
10	2018	9	10 ～ 11	法面部約55° 勾配で根ぶくれがない状態で伐木作業中、切断した倒木が倒れた直後に根ぶくれが発生し、根に足を取られて10～12m法面を滑落し、根が落ちてきて右脇腹に当たり受傷した。	59	1	711	1 ～ 9 人
11	2018	9	10 ～ 11	買い物に行くために運転中、ハンドル操作ミスにより電柱に衝突し、胸部を打撲した。	65	17	231	1 ～ 9 人
12	2018	9	10 ～	法面部約55° 勾配で根ぶくれがない状態で伐木作業中、切断した倒木が倒れた直後に根ぶくれが発生し、根に足を取られて10～12m法	59	1	711	1 ～ 9

			11	面を滑落し、根が落ちてきて右脇腹に当たり受傷した。					人
13	2018	9	10 ～ 11	買い物に行くために運転中、ハンドル操作ミスにより電柱に衝突し、胸部を打撲した。	65	17	231		1 ～ 9 人
14	2018	9	10 ～ 11	法面部約55° 勾配で根ぶくれがない状態で伐木作業中、切断した倒木が倒れた直後に根ぶくれが発生し、根に足を取られて10～12m法面を滑落し、根が落ちてきて右脇腹に当たり受傷した。	59	1	711		1 ～ 9 人
15	2018	9	10 ～ 11	買い物に行くために運転中、ハンドル操作ミスにより電柱に衝突し、胸部を打撲した。	65	17	231		1 ～ 9 人
16	2018	9	10 ～ 11	法面部約55° 勾配で根ぶくれがない状態で伐木作業中、切断した倒木が倒れた直後に根ぶくれが発生し、根に足を取られて10～12m法面を滑落し、根が落ちてきて右脇腹に当たり受傷した。	59	1	711		1 ～ 9 人
17	2018	9	10 ～ 11	買い物に行くために運転中、ハンドル操作ミスにより電柱に衝突し、胸部を打撲した。	65	17	231		1 ～ 9 人
18	2018	10	11 ～ 12	河川内の仮設道路でバックホウを使って鉄板の敷設作業中、鉄板を吊り下ろす際に吊り金具フックが外れて、近くにいた被災者が鉄板の下敷きになった。	60	4	372		1 ～ 9 人
19	2018	10	9	資材置き場で整理作業中、台から型枠（約20kg）を下ろそうとしたとき、型枠が落下して頭部に当たった。その衝撃で転倒し、両肩を	64	4	521		10 ～

			10	打撲した。				29 人
20	2018	10	10 ～ 11	現場で水中ポンプの電気を接続するため、本体工の天端から約1.5m下の川床にはしごを使って下りた。その際にはしごを固定していなかったため、はしごの脚が滑り、下流の川床に梯子とともに転落した。	63	1	371	1 ～ 9 人
21	2018	10	16 ～ 17	土砂置き場に工事で発生した残土を搬入し、確認のため徒歩で移動中、砂利で足を滑らせて転倒し、左足を骨折した。	64	2	523	1 ～ 9 人
22	2018	11	10 ～ 11	資材置き場で片付け作業中、4tユニック車から荷物を下ろすため、フックを掛けてユニック車に登ろうとしたとき、足を滑らせて約1.0mの高さから転落し、左肩を負傷した。	63	1	221	30 ～ 49 人
23	2018	12	11 ～ 12	現場で重機が滑って川に落ちないように、木杭を打って木柵を作り安全対策を行っていた。パワーショベルのバケットで木杭を軽く打ち込み、目立たせたのを確認し、強く打ち込むときに、木杭とバケットの当たりが悪く、木杭が飛び、近くにいた被災者の顔面を直撃し、顔面を骨折した。	64	4	142	10 ～ 29 人
24	2018	12	16 ～ 17	上流の掘削作業現場で発生した土砂を、仮設モノレールに積み込み下流ヤードまで運搬し、搬出処分のためダンプトラックに積み替えを行っていた。ダンプに積み込んだバッキン開閉ロックを解除する作業があり、作業員がダンプトラックの荷台でロックの開閉作業をした。作業員がダンプの荷台から降りる際、つまずきダンプから転落して骨折した。	64	1	229	1 ～ 9 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。